

街の活力は 自立と創造から

あのまちこの街

No. 111

編集 北海道商店街振興組合連合会
〔あのまちこの街 編集委員会〕
札幌市中央区北1条西2丁目

顧客流出対策で協力体制

賑わい創出と再生へ向け 構造改革特区計画を推進

顧客の回遊性確保のため 新たに買い物バスを運行

柳商連が駐車券事業を先導

柳ヶ瀬は全国的にも有名な繁華街で特に夜間飲食関係は高い集積度を誇る。市内だけでなく近隣市町村からの来街がある都市型拠点商業地となっている。

昭和五十八年に柳ヶ瀬全域のカラー舗装が完成した。自動車の通行を禁止、来街者が終日安心して歩ける空間となっている。

にぎわい創出の再生特区

平成元年の「柳ヶ瀬ルネッサンス計画」を受けて実施された事業は多く、ハード面においては平成二年、街区に設置されていたアーケードとカラー舗装をリニューアルした。柳ヶ瀬通一丁目から同三丁目の約二百五十メートルの約二百五十メートルの

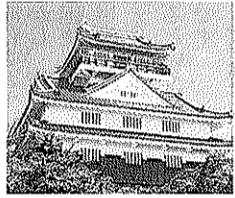
各商店街から加盟店への販売方法はそれぞれに任せている。

運営委、傘下商店街、駐車場それぞれが相応の負担をし、この事業のポインントであるスケールメリットを發揮しているのが特徴。中心街全体の活性化が、自分たちのメリットになることを充分認識している。



岐阜市の中心商店街

柳ヶ瀬、駅前近況報告



▲岐阜城

岐阜市は鶴岡で有名な清流長良川が市内を貫通。東に恵那山、木曾御岳山が雄大な姿を見せ、北には伊吹、養老、鈴鹿山系が連なる。南には濃尾平野が豊かに開けていて、原生林が覆う金華山、斎藤道三や織田信長の居城・岐阜城が見どころである。

長良川河畔の「世界イベント村ぎふ」は、国際会議場を擁する大規模複合施設だ。JR岐阜駅を基点に岐阜市柳ヶ瀬商店街と駅前商店街があり、商圏は岐阜市および周辺市町村を含む広域型である。

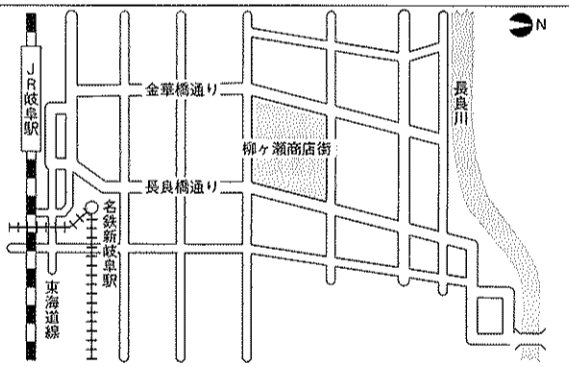
柳ヶ瀬商店街はJR岐阜駅から約一キロ離れており、公共交通機関はバスと市内電車だけである。地域唯一の繁

華街として賑わいを誇っている。

平成元年に策定したハード優先のルネッサンス計画は、着実に実行された。そして平成九年には「柳ヶ瀬21世紀ビジョン計画」を策定。これはルネッサンス計画の延長線上にあり、ソフトとハード両面の集客魅力に満ちた街づくりが基本となっている。

高島屋南地区の再開発を官民一体で実施。岐阜市の街づくりのモデルとなった。

濃尾大地震で壊滅した柳ヶ瀬が復興してから一世紀が経過、競争激化による地盤沈下から脱出した。しかし第一段階を完了したにすぎない。新たな歴史に向かって進み始めた岐阜市中心部を紹介する。



JR高架下のショッピングモール「アスティ岐阜」



問屋がひしめくJR岐阜駅前

柳ヶ瀬地区と駅前地区が対象となった。

雇用の拡大と商店街の魅力創出のため、商業施設が特に集積する柳ヶ瀬地区と、再開発事業が計画されている駅前地区を「大規模小売店舗立地法の手法手続き簡素化特区」に設定。核となる大型小売店舗を誘致し集客力を高める。

同時に多彩な施策を盛り込んだ。安価な家賃で出店の機会を創出し、新規商業者を育成する「商業ベンチャー支援事業」、空き店舗へ補助する「空

昨年十一月、JR岐阜駅高架下にショッピングモール「アスティ岐阜」が開業した。人気の飲食店、居酒屋などが入店。従来駅前になかったバス停やドーナツ店など新たな業種もオープンし話題になっている。

また、近鉄百貨店跡には中日新聞岐阜支社ビルが七月に完成の予定で建設されている。ビルが入り、四、八階に

中日新聞岐阜支社と関係会社が入居する。長良橋通りのフロアレンス柳ヶ瀬のアーケードに入ってすぐが建設現場で、完成後は新たな人の流れが生まれることになる。

今年四月に分社化された高島屋岐阜店。一部で撤退を危ぶまれるなか、商店街自身の経営改善を強調する声や分社化により高島屋が地元定着すると受け止める見解など、商店主には様々な反応が

あった。市では岐阜をより意識し、商店街を引っ張っていくと期待している。

循環バス事業は好評続行

郊外大型店は駐車場が無料。これに対し、中心部では駐車料金（三百、三百六十円/時間）が消費者の来街を阻害しているのではという指摘があった。

そこで、商店街が市の玄関口であるJR岐阜駅から徒歩十五分に立地する利点を生かし、駅と商店街、商店街と北に位置する住宅街を結ぶ循環バス「柳ヶ瀬」を運行した。

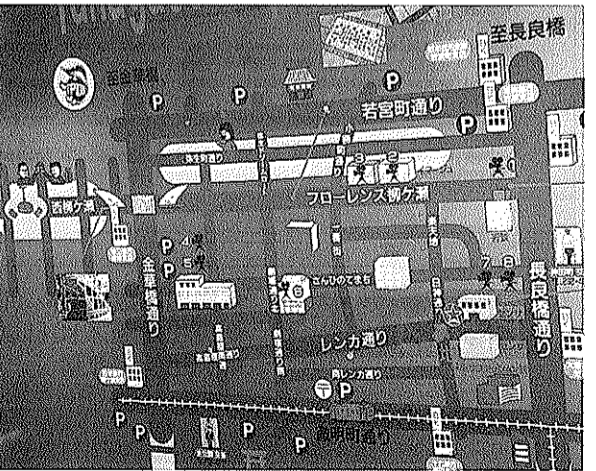
一枚五十円の「柳ヶ瀬利用券」を買って物客に配布、加盟店は約六百店でステッカーを店頭貼付している。何枚配付するか

また岐阜市では「総合型交通社会実験」で将来の都市交通のあり方を探る実験を開始した。

まず「バスレーン実験」を平成十五年十月十四日（十一月二十八日）に実施した。対象路線の一車線をバス優先レーンとし、さらに路面電車軌道内通行禁止やトランジットモーター実験、レンタサイクル、まちなか歩きなど五種類の実験を行った。



アーケードが連なる柳ヶ瀬商店街



街区内のマップには駐車場の位置を表示



ワンコイン式循環バス「柳ヶ瀬」

コラム

岐阜市は東京・大阪と並び日本三大ファッション都市である。尾張一宮、羽島など織物産地があり、戦前より糸染色からデザイン、縫製まで一貫生産を行ってきた。

戦後、焼け野原の国鉄駅（現JR岐阜駅）で北満州からの引き上げ者が古着や軍服の販売を始めた。現在では街として繁盛している市内全域の衣料品問屋は千五百社、年間販売額は八千億円にのぼる。